



令和8年4月24日

## 「Fry to Fly Project」への参加を通じた 家庭用廃食用油の回収促進について

世田谷区は、CO<sub>2</sub>の排出抑制や家庭用廃食用油のさらなる回収促進を図るため、本年4月よりSAFの利用促進に向けた「Fry to Fly Project」に参加し、区民への啓発強化を進めています。

### 1 概要

SAF（持続可能な航空燃料）は廃食用油等を原料としており、従来の航空燃料と比べて、原料の調達から製造、使用されるまでのCO<sub>2</sub>排出量が約80%削減されている。

航空業界では、脱炭素化を加速するためにSAFの利用拡大を進めており、昨年4月には国内における安定的な国産SAFの製造・供給が開始された。

こうした中、区ではSAFの利用促進を通じた資源の再利用やCO<sub>2</sub>の排出抑制を進めるとともに、廃食用油の回収のさらなる促進を図るため、民間事業者等によるSAF利用促進プロジェクトである「Fry to Fly Project」に参加し、区民への啓発強化を図っていく。

### 2 「Fry to Fly Project」について

家庭用や事業用を含めた廃食用油の回収促進やSAFの国内製造の推進を通じて、SAFで航空機が飛ぶ世界の実現を図るプロジェクト。

- (1) 運営団体（事務局）  
日揮ホールディングス株式会社
- (2) 参加団体（令和8年4月1日時点）  
314団体（※東京都をはじめ、23区では荒川区と足立区が参加）
- (3) 区の参加時期  
令和8年4月～

### 3 SAFの利用拡大及び廃食用油の回収促進に向けた取組み

- (1) 区が回収した廃食用油の全量をSAFに再利用  
区では現在、区内27箇所の公共施設等において、月2回、回収員への手渡し方式等により家庭から出る廃食用油を回収しており、令和8年度より回収した廃食用油の全量をSAFに再利用する。
- (2) 周知・啓発活動の強化  
区のおしらせをはじめ、ホームページや公式X、資源・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」等の広報媒体を活用して「Fry to Fly Project」をはじめとした情報発信に取り組むほか、小学校の教育課程で廃棄物について学習する際に使用する環境学習用の冊子においてSAFの取組みを紹介するなど様々な手法で周知啓発を強化していく。
- (3) せたがやふるさと区民まつりでの回収の実施  
本年6月6日～7日に開催される第47回せたがやふるさと区民まつりにおいて、家庭から出る廃食用油の回収を実施し、併せて事業の紹介や普及啓発を行っていく。

◎問合せ先 清掃・リサイクル推進課 電話03-6304-3267